



独立行政法人

海洋研究開発機構

## Blue Earth'08プログラム

(第24回しんかいシンポジウム/第11回みらいシンポジウム)

第1日目：平成20年3月13日(木)

■口頭発表(会場：304教室)

## しんかいシンポジウム

深海調査研究計画委員長挨拶(09:20-09:30)

S1：技術開発I(09:30-10:30)

座長：浅川 賢一(海洋研究開発機構)

S01(09:30-09:45)

熊野灘沖に展開する海底ネットワークシステムのための事前調査について

—事前調査航海の報告と今後の計画—

○松本 浩幸(海洋研究開発機構)他

S02(09:45-10:00)

海底ネットワークシステム構築のための海中障害除去作業

○佐久間 淳(海洋研究開発機構)他

S03(10:00-10:15)

海底での高精度広帯域地震観測に向けて

○荒木 英一郎(海洋研究開発機構)他

S04(10:15-10:30)

80kHz帯域を用いた近距離超音響通信実験概要報告

○越智 寛(海洋研究開発機構)他

S2：ちきゅう(10:35-11:50)

座長：倉本 真一(海洋研究開発機構)

S05(10:35-10:50)

IODP南海トラフ地震発生帯掘削計画Stage1航海概要

○倉本 真一(海洋研究開発機構)

S06(10:50-11:10)

IODP314航海速報：南海トラフ地震発生帯掘削LWDトランセクト

○木下 正高(海洋研究開発機構)他

S07(11:10-11:30)

Preliminary Results from IODP Exp. 315: Mega-splay riser pilot in

the Nankai Trough off Kumano

○芦 寿一郎(東京大学)他

S08(11:30-11:50)

Preliminary result of IODP Expedition # 316-Mega splay fault and frontal

thrust in the Nankai Accretionary prism

○木村 学(東京大学)他

昼休み(11:50-13:10)

ポスターセッション(会場：302教室)(13:10-14:10)

S3：島弧と背弧海盆の成長過程(14:10-15:25)

座長：高橋 成実(海洋研究開発機構)

S09(14:10-14:25)

伊豆・小笠原・マリアナ島弧における地殻進化とリフティング

○高橋 成実(海洋研究開発機構)他

S10(14:25-14:40)

島弧地殻成長の変遷と火山との関係 —伊豆小笠原島弧火山フロント下および

雁行海山列下の地殻構造調査から—

○佐藤 壮(海洋研究開発機構)他

S11(14:40-14:55)

反射法地震探査から得られた伊豆小笠原島弧・背弧系の地殻イメージング

○山下 幹也(海洋研究開発機構)他

S12(14:55-15:10)

海洋性島弧地殻構造のバリエーションと島弧マグマの成因的関連

—水曜海山西方海山列潜航調査速報—

○石塚 治(産業技術総合研究所)他

S13(15:10-15:25)

沈み込み・前弧・島弧・背弧系(中部マリアナ海域)の電気伝導度構造

○島 伸和(神戸大学)他

休憩(15:25-15:45)

■特別講演(真実センター3階：シーガルホール)(15:45-16:30)

「地球温暖化のリアル〜ノーベル平和賞受賞IPCC第4次評価報告書の

科学概要と方策〜」

○近藤 洋輝(海洋研究開発機構 特任上席研究員)

休憩(16:30-16:45)

■「海と地球の研究5ヶ年指針」

(シーガルセンター3階：シーガルホール)(16:45-17:30)

進行役：

小川 勇二郎(深海調査研究計画委員長)

植松 光夫(「みらい」運用検討委員長)

理事長挨拶(17:30-17:40)

懇親会(会場：シーガルセンター1階：生協学生食堂)(18:00-19:30)

ポスター表彰(懇談会内含む)

■口頭発表(会場：301教室)

## みらいシンポジウム

「みらい」運用検討委員長挨拶(09:20-09:30)

S1：古海洋環境変動(09:30-10:45)

座長：木元 克典(海洋研究開発機構)

M01(09:30-09:45)

炭酸塩の少ない海域における光ルミネッセンス年代測定法の有効性

—MR06-04 PC04Aオホーツク海堆積物コアを用いて—

○杉崎 彩子(総合研究大学院大学)他

M02(09:45-10:00)

MR06-04で得られたオホーツク海中央部の海底堆積物コアの年代モデルと

海氷変動

○坂本 竜彦(海洋研究開発機構)他

M03(10:00-10:15)

最終氷期最寒期のベーリング海底層水の酸素同位体比の復元

○井尻 暁(海洋研究開発機構)他

M04(10:15-10:30)

Chukchi〜Bering海表層堆積物中のブラックカーボンの分布と安定同位体的特徴

○熊田 英峰(東京薬科大学)他

M05(10:30-10:45)

後期更新世のベーリング海グリーンベルトにおける生物地球化学サイクル：

MR06-04航海で採取された海底コアの記録から

○板木 拓也(釜山大学)他

S2：海洋性生態系その他(10:50-11:50)

座長：藤木 徹一(海洋研究開発機構)

M06(10:50-11:05)

MR07-05航海概要報告：北西部北太平洋における物質循環過程と

それに関わる生態系研究

○本多 牧生(海洋研究開発機構)他

M07(11:05-11:20)

時系列観測点K2における初夏の動物プランクトン群集構造

○喜多村 稔(海洋研究開発機構)

M08(11:20-11:35)

西部北太平洋で観測された低緯度域から高緯度域への変化に伴う植物プランクトン

とその一次生産の影響について

○松本 和彦(海洋研究開発機構)他

M09(11:35-11:50)

Argo—全海洋モニタリングの革新

○四電 信行(海洋研究開発機構)

昼休み(11:50-13:10)

ポスターセッション(会場：302教室)(13:10-14:10)

S3：大気海洋(14:10-15:25)

座長：安藤 健太郎(海洋研究開発機構)

M10(14:10-14:25)

フィリピン海における海洋変動 —トライトンブイによる観測結果—

○柏野 祐二(海洋研究開発機構)他

M11(14:25-14:40)

西部赤道太平洋における海洋変動特性と2002/03年エルニーニョ発生メカニズム

○長谷川 拓也(海洋研究開発機構)他

M12(14:40-14:55)

トライトンブイによって観測された2006年と2007年の

インド洋ダイポール現象の発達過程

○堀井 孝憲(海洋研究開発機構)他

M13(14:55-15:10)

インド洋におけるMJO対流発生におけるメソ降水システムの役割

○米山 邦夫(海洋研究開発機構)他

M14(15:10-15:25)

黒潮続流域におけるJKE0ブイ設置と海面フラックス観測

○富田 裕之(海洋研究開発機構)他

■ポスターセッション(会場302・303教室)13:10~14:10

## しんかいシンポジウム

PS01. 北部沖縄トラフ・男女海盆における地質構造探査

○荒井 晃作(産業技術総合研究所)他

PS02. 日本海中央部から採取された海底堆積物コアの岩相的特徴

○池原 研(産業技術総合研究所)他

PS03. 東シナ海北部の完新世気候変動

○中西 貴大(北海道大学)他

PS04. 北部伊豆小笠原におけるランダム速度不均質構造

○高橋 努(海洋研究開発機構)他

PS05. 反射法地震探査データから見る伊豆小笠原前弧海盆の構造発達

○野 徹雄(海洋研究開発機構)他

PS06. 駿河湾奥部の枕状溶岩と新期海底火山活動の発見

○坂本 泉(東海大学)他

PS07. アジア・モンスーン変動と揚子江河川流出、黒潮・対馬海流、日本海内極前線

変動のリンケージ：IODP日本海/東シナ海掘削のための事前調査結果報告

○多田 隆治(東京大学)他

PS08. 沖縄トラフ北端部から得られた過去2万年の古地磁気変動記録

○小田 啓邦(産業技術総合研究所)他

PS09. 東シナ海KY07-04 PC-1 コアにおける過去2万年間の水温・塩分変動復元

○久保田 好美(東京大学)他

しんかいシンポジウム（つづき）

- PS10. 日本海IODP掘削サイトにおける地質構造探査  
一島根県・兵庫県沖、大和海盆、大和堆一  
○井上 卓彦（産業技術総合研究所）他
- PS11. 伊豆・小笠原弧における深成岩海山の発見：  
「なつしま・ハイパードルフィン」NT07-15航海概要報告  
○谷 健一郎（海洋研究開発機構）他
- PS12. 反射法地震探査記録から見る伊豆・小笠原島弧背弧境界域の浅部構造  
○瀧澤 薫（海洋研究開発機構）他
- PS13. 人工地震探査によるマリアナトラフ北端部のリフティング初期構造  
○三浦 誠一（海洋研究開発機構）他
- PS14. 150台の自己浮上型海底地震計（OBS）の運用について  
～省力化と効率化への取り組み～  
○大西 桂介（日本海洋事業株）他
- PS15. 「かいらい」MCS高精度化における新エアガンレイについて  
○清水 賢（日本海洋事業株）他
- PS16. プチスポットマグマ生成における地球化学的数値シミュレーション  
○高橋 亜夕（東京大学大学院）他
- PS17. 水曜海山と伊平屋北海域の熱流量高密度観測による局所的地下水理構造の解明  
○正木 裕香（高知大学大学院）他
- PS18. 相模湾西部・初島沖の浅部地殻構造とテクトニクス  
○三澤 文慶（東海大学）他
- PS19. 熊野沖付加体・前弧海盆の冷湧水と海底水理観測  
○芦 寿一郎（東京大学海洋研究所）他
- PS20. AUV「うらしま」による熊野泥火山群の音響探査  
～高精度探査から第八熊野海丘の発達史を探る～  
○森田 澄人（産業技術総合研究所）他
- PS21. Tokai-SCANNER（豊橋ケーブル）の時刻同期システム  
○横引 貴史（海洋研究開発機構）他
- PS22. 海洋研究開発機構における反射法地震探査システムの運用と今後の展開  
○樋泉 昌之（日本海洋事業株）他
- PS23. シングルチャンネル地震探査～ターゲット指向データ取得～  
○君野 麻衣子（日本海洋事業株）他
- PS24. プチスポット活動にかかわる熱流量の研究  
○濱元 栄起（東京大学地震研究所）他
- PS25. 新たなプチスポット火山活動域の発見とその意義  
○阿部 なつ江（海洋研究開発機構）他
- PS26. 熊野海盆第八熊野海丘における海底下長期温度モニタリング  
○後藤 秀作（産業技術総合研究所）他
- PS27. 東南海地震の震源域における地殻構造探査  
○藤江 剛（海洋研究開発機構）他
- PS28. 高強度セラミックスによる深海用耐圧容器の開発  
○矢野 裕亮（海洋研究開発機構）他
- PS29. JAMSTECにおける船上重力データの公開について  
○細谷 慎一（日本海洋事業株）他
- PS30. 掘削時検層で明らかになった熊野海盆南縁部IODP Site C0002の層序と  
メタンハイドレートの産状  
○斎藤 実篤（海洋研究開発機構）他
- PS31. Preliminary Results from IODP Exp. 316: Operational overview  
○Daniel Curewitz（海洋研究開発機構）他
- PS32. IODP Expedition 314: Operational Limits and Data Quality  
○MOE Kyaw Thu（海洋研究開発機構）他
- PS33. 地球深部掘削船「ちきゅう」熟練航海CK05-04で得られた下北沖海底堆積物  
コア中に認められる急激で突然の海洋変動（ダンスガードエシュガーサイクル）  
○坂本 竜彦（海洋研究開発機構）他
- PS34. 深海の研究（調査）のための3Dハイビジョンカメラシステムの開発  
○奥野 光（財）日本科学技術振興財団）他（308教室に立体映像の投影実演）
- PS35. 掘削同時検層データを用いた紀伊半島沖南海トラフ付加体の地質構造解析  
○山田 泰広（京都大学）他
- PS36. IODP Exp314航海概要報告 - Log-Seismic integration-  
○中村 恭之（東京大学海洋研究所）他
- PS37. IODP第314次研究航海におけるLWDデータからの物理特性の解析  
○宮川 歩夢（京都大学）他
- PS38. IODP第315次航海速報  
○眞砂 英樹（海洋研究開発機構）他
- PS39. 相模湾における“soft-shelled”底生有孔虫群集を中心とした  
原生生物群集に関する研究  
○土屋 正史（海洋研究開発機構）他
- PS40. シマイシロウリガイのエラ組織のESTによる遺伝子解析  
○吉田 尊雄（海洋研究開発機構）他
- PS41. 様々な飼育条件下におけるシマイシロウリガイ細胞内共生菌の  
分子シャペロンの発現解析  
○吉田 尊雄（海洋研究開発機構）他
- PS42. 千島海溝における新しいシロウリガイ類コロニーの発見と、  
シロウリガイ類の系統解析  
○奥石 武（海洋研究開発機構）他
- PS43. リアルタイムPCRを用いたシチヨウシンカイヒバリガイタウリン輸送体mRNAの定量  
○小糸 智子（東京大学大学院）他
- PS44. 水曜海山で採集した国内初記録のアルビンガイ類について～その系統と共生  
○藤原 義弘（海洋研究開発機構）他
- PS45. Preliminary results of YK07-15: Discovery of the world's deepest  
populations of deep-sea zoanths (Hexacorallia: Abyssoanthidae)  
at the Japan Trench  
○REIMER James Davis（琉球大学）他
- PS46. シマイシロウリガイから精製されたレクチンの構造解析と性状の検討  
○神保 充（北里大学）他

しんかいシンポジウム（つづき）

- PS47. 微細形態学から見たシマイシロウリガイと共生細菌の関係  
○植松 勝之（海洋研究開発機構）他
- PS48. 相模湾初島沖メタン湧水域に生息する巻貝・ツブナリシャジクの卵カプセル  
○渡部 裕美（海洋研究開発機構）他
- PS49. 日本周辺の熱水噴出域に生息するイトログカイ属多毛類の集団構造  
○頼末 武史（東京大学海洋研究所）他
- PS50. 深海底生有孔虫による溶存態有機物と粒子状有機物の摂取形態の違い  
○野牧 秀隆（海洋研究開発機構）他
- PS51. 「しんかい6500」を用いた日本海溝ゼラチン質生物調査：  
YK07-15航海の概要と成果  
○Dhugal J.Lindsay（海洋研究開発機構）他
- PS52. PICASSOプロジェクトの現在と展望  
○Dhugal J.Lindsay（海洋研究開発機構）他
- PS53. 浮く鯨と沈む鯨—その分解過程から推定される異なった  
鯨生物群集の成立プロセス  
○大越 健嗣（石巻専修大学）他
- PS54. 鯨骨付着二枚貝の飼育下での成長と行動  
○伊藤 希（石巻専修大学）他
- PS55. 鯨骨産ヒラノマクラにおける細胞外共生細菌の除去と再獲得  
○野田 智佳代（広島大学大学院）他
- PS56. ホネクイハナムシ共生細菌近縁分離株の同定  
○宮崎 征行（海洋研究開発機構）他
- PS57. 鯨骨生物群集に生息する脊索動物ゲイコツナメクジウオの網羅的遺伝子解析  
○窪川 かおる（東京大学海洋研究所）他
- PS58. 鯨骨は浅海でも化学合成共生生物を養えるのか？  
-Zoothamnium属繊毛虫の出現とその共生様式-  
○河戸 勝（海洋研究開発機構）他
- PS59. 野間岬沖鯨骨から新規発見したイガイ科二枚貝—その形態、  
系統および共生について  
○木下 吟（広島大学大学院）他

みらいシンポジウム

- PM01: 乱流変動法による二酸化炭素の海面フラックスの直接測定  
○近藤 文義（岡山大学大学院）他
- PM02: プロファイル法による海面CO<sub>2</sub>フラックス測定  
○下重 光次（岡山大学大学院）他
- PM03: みらいMR06-04航海、オホーツク海南西部堆積物コア分析による  
過去3万年間の海洋環境復元  
○岡崎 裕典（海洋研究開発機構）他
- PM04: ベーリング海峡周辺海域における陸起源碎屑物の分布および起源の推定  
○長島 佳菜（海洋研究開発機構）他
- PM05: クロスカップリング誤差補正係数の最適化による「みらい」船上重力計の  
データ精度向上  
○木村 亮（横溝グローバルオーシャンディベロップメント）他
- PM06: 北西太平洋における詳細海底地形調査と同海域の海山に関する  
地形および地球物理学的研究  
○小池 悠己（高知大学大学院）他
- PM07: 「みらい」船上三成分磁力計による北太平洋の磁化構造  
○松本 剛（琉球大学）他
- PM08: 熱帯赤道域における海洋表層～深層の微生物群集構造解析  
○大森 孟道（茨城大学）他
- PM09: ベーリング海におけるダンスガードエシュガーサイクル  
: MR06-04-PC23海底堆積物コアに記録された海水・海洋変動  
○加藤 まなみ（茨城大学）他
- PM10: 相対古地磁気強度を用いたオホーツク海堆積物コアの年代推定  
○井上 聖子（筑波大学）他
- PM11: MR06-04 St. 2（十勝沖）から得られた堆積物コアを用いた最終氷期以降の  
海洋表層環境の復元  
○佐川 拓也（高知大学）他
- PM12: 衛星データ画像Web表示システムの開発  
○末吉 悠一郎（横溝グローバルオーシャンディベロップメント）他
- PM13: TAO/TRITON係留ブイと解像度の粗い海面水温データから計算した  
水平熱移流の誤差の研究  
○名倉 元樹（海洋研究開発機構）他
- PM14: トライトンCTセンサの経時変化特性に対する現場実験  
○植木 巖（海洋研究開発機構）他
- PM15: 海洋における一酸化二窒素の生成量および海洋-大気フラックス  
○藤井 彩子（東京工業大学）他
- PM16: MR07-04, 05, 06航海採取試料による海洋DOC炭素循環と微生物の関連性解明に  
関する研究の予察的結果：古細菌脂質分子の<sup>14</sup>C測定のための分析条件の検討  
○黒木 由貴子（筑波大学大学院）他
- PM17: 南大洋インド洋区から採取されたコアMR03-K04-PC5における酸素同位体  
及びアルケノン古水温変動  
○池原 実（高知大学）他
- PM18: MR07-04, 05, 06航海採取試料による海洋DOC炭素循環と微生物の関連性解明に  
関する研究の予察的結果：海洋性古細菌の分布と多様性  
○内海 真生（筑波大学大学院）他
- PM19: 亜北極域における植物プランクトンの新しい観測  
○今野 進（山形大学大学院）他
- PM20: ベーリング海東部陸棚域における円石藻Emiliania huxleyiブルーム  
～過去50年の記録～  
○原田 尚美（海洋研究開発機構）他
- PM21: Sr, Nd同位体トレーサを利用したベーリング海およびチャクテ海表層堆積物中の  
陸源碎屑物の起源解析  
○浅原 良浩（名古屋大学大学院）他

# 第2日目：平成19年3月14日（金）

■口頭発表（会場：304教室）

## しんかいシンポジウム

**S4：生物圏Ⅰ（09:30-10:45）座長：布浦 拓郎（海洋研究開発機構）**

S14（09:30-09:45）

日中韓共同による日本海溝調査KR07-14の速報と、東アジアにおける深海バイオネットワーク構築に向けての取り組み

○加藤 千明（海洋研究開発機構）他

S15（09:45-10:00）

深海底熱水活動域の熱水-海水混合域における微生物活動調査：

NT07-11およびNT07-13調査航海概要

○中川 聡（海洋研究開発機構）他

S16（10:00-10:15）

水曜海山カルデラ内の熱水生態系解析-NT07-08航海概要報告-

○木村 浩之（静岡大学）他

S17（10:15-10:30）

深海に適応した動物の研究と熱水ブルーム拡散挙動の観測技術開発を目的とした

鳩間海丘調査（NT07-12 航海報告）

○竹村 明洋（琉球大学）他

S18（10:30-10:45）

シマイシロウリガイ共生菌による有機物の化学合成過程と宿主への供給過程の解析：

YK07-05 航海報告

○丸山 正（海洋研究開発機構）他

**S5：生物圏Ⅱ（10:50-12:05）座長：吉田 尊雄（海洋研究開発機構）**

S19（10:50-11:05）

化学合成共生システムの進化における生物起源化学合成環境

（Biogenic Chemosynthetic Environment）の重要性

○藤原 義弘（海洋研究開発機構）他

S20（11:05-11:20）

鯨骨生物群集5年間の遷移〜死後の鯨が深海底において果たす役割〜

○山本 智子（鹿児島大学）他

S21（11:20-11:35）

Diversity of Osedax species colonizing whale bones

○Florence Pradillon（海洋研究開発機構）他

S22（11:35-11:50）

千島海溝斜面における冷水湧出域の生物とYK07-14航海における深海生物の生存捕獲

○三輪 哲也（海洋研究開発機構）他

S23（11:50-12:05）

深水性魚類パラビクニン、Careproctus rhodomelas、における網膜の構造と光応答

○保 智己（奈良女子大学）他

**昼休み（12:05-13:00）**

**ポスターセッション（会場：302・303教室）（13:00-14:00）**

**S6：メタンハイドレート（14:00-15:15）座長：後藤 忠徳（海洋研究開発機構）**

S24（14:00-14:15）

NT07-20 日本海メタンハイドレート調査の成果：

海底微地形とメタンハイドレートの産状

○松本 良（東京大学大学院）他

S25（14:15-14:30）

上越沖海底メタンハイドレート分布域の地質構造調査

○佐藤 幹夫（産業技術総合研究所）他

S26（14:30-14:45）

The Study of Gas Hydrate Bearing-Sediments from Joetsu Area

○Antonio Fernando Menezes Freire（東京大学）他

S27（14:45-15:00）

上越沖深海底における底生生物分布とメタンシーブの関連性

○沼波 秀樹（東京家政学院大学）他

S28（15:00-15:15）

日本海上越沖における計量魚群探知機を利用したメタンハイドレートの

音響キャリブレーション実験

○青山 千春（独立総合研究所）他

**S7：技術開発Ⅱ（15:20-16:20）座長：大澤 弘敬（海洋研究開発機構）**

S29（15:20-15:35）

ADCPで検出された無人探査機・潜水調査船の「航跡」

○岩瀬 良一（海洋研究開発機構）他

S30（15:35-15:50）

豊橋沖海底ケーブル先端における地震・地殻変動観測システムの展開

○後藤 忠徳（海洋研究開発機構）他

S31（15:50-16:05）

高強度セラミックスによる深海用耐圧容器の開発

○矢野 裕亮（海洋研究開発機構）他

S32（16:05-16:20）

YK07-12航海におけるマルチセンサーコアロガー（MSCL）コンテナラボの設置と

採泥調査におけるその有効性

○飯島 耕一（海洋研究開発機構）他

**休憩（16:20-16:30）**

**S8：堆積環境と生物過程（16:30-17:30）座長：坂本 竜彦（海洋研究開発機構）**

S33（16:30-16:45）

YK0712オホーツク海航海概要報告

○坂本 竜彦（海洋研究開発機構）他

S34（16:45-17:00）

ケーブルネットワークに接続した海底設置型モニタリングシステムによる、

堆積物-水境界における酸素-pHプロファイル変動の長期間連続計測

○野牧 秀隆（海洋研究開発機構）他

S35（17:00-17:15）

下北沖表層堆積物の酸素濃度分布と底生生物群集について

○小栗 一将（海洋研究開発機構）他

## しんかいシンポジウム（セッション8のつづき）

S36（17:15-17:30）

メタン湧水域における“熱水噴出孔生物群集”の発見—

「なつしま」NT07-05台湾南西沖調査航海の概要—

○町山 栄章（海洋研究開発機構）他

**閉会挨拶、ポスター表彰（17:30-17:40）**

■口頭発表（会場：301教室）

**しんかいシンポジウム（みらいシンポジウム会場：301教室にて開催）**

**S9：物質上昇域とテクトニクス（09:30-10:45）座長：馬場 聖至（東京大学地震研究所）**

S37（09:30-09:45）

鹿児島湾若尊火口内を埋める堆積層内での熱水循環系解明

-NT07-09航海概要報告-

○山中 寿朗（岡山大学）他

S38（09:45-10:00）

NT07-17調査航海の概要報告：特に明神礁海底カルデラ海域等における熱水鉱床について

○飯笠 幸吉（産業技術総合研究所）他

S39（10:00-10:15）

Lyra海盆のテクトニクス：オントンジャワ海台形成過程との関係

○中西 正男（千葉大学大学院）他

S40（10:15-10:30）

北西太平洋の新種火山「ブチスポット」の総合調査：

メルト生成場とマグマ噴出場の分布解明

○馬場 聖至（東京大学地震研究所）他

S41（10:30-10:45）

マリアナ前弧のテクトニクス：KR06-15航海の成果

○前川 寛和（大阪府立大学）他

**S10：地震発生と地滑り（10:50-12:05）座長：尾鼻 浩一郎（海洋研究開発機構）**

S42（10:50-11:05）

日本海溝前弧海盆の沈降運動とタービダイト（KR07-05航海の概要報告）

○岡村 行信（産業技術総合研究所）他

S43（11:05-11:20）

千島弧 釧路海底谷の潜航調査および周辺の地形調査（YK07-14航海報告[地質分野]）

○辻野 匠（産業技術総合研究所）他

S44（11:20-11:35）

日本海溝アウターライズにおけるM7地震と小海丘に関する潜航調査

○藤本 博己（東北大学大学院）他

S45（11:35-11:50）

平成19年新潟県中越沖地震に関する緊急調査研究：KR07-E01の成果

○尾鼻 浩一郎（海洋研究開発機構）他

S46（11:50-12:05）

南海トラフ地震発生帯研究の最前線

○仲西 理子（海洋研究開発機構）他

**みらいシンポジウム（会場：301教室）**

**昼休み（12:05-13:00）/ポスターセッション（会場：302教室）（13:00-14:00）**

**S4：海洋大循環・物質循環Ⅰ（14:00-15:15）座長：村田 昌彦（海洋研究開発機構）**

M15（14:00-14:15）

大気海洋間のラドンフラックス

○田阪 茂樹（岐阜大学）他

M16（14:15-14:30）

酸素17同位体比異常法による大気-海洋ガス交換係数の測定

○才野 敏郎（名古屋大学）他

M17（14:30-14:45）

小型海洋表層二酸化炭素測定装置の開発

○中野 善之（海洋研究開発機構）他

M18（14:45-15:00）

夏季の北太平洋亜寒帯域における懸濁粒子中主要元素の濃度分布

○岩本 洋子（東京大学海洋研究所）他

M19（15:00-15:15）

西部北太平洋亜寒帯域のStation K2とKNOTにおける溶存無機炭素の経年変動

○脇田 昌英（海洋研究開発機構）他

**S5：海洋大循環・物質循環Ⅱ（15:20-16:20）座長：脇田 昌英（海洋研究開発機構）**

M20（15:20-15:35）

北太平洋における過去数十年間の溶存酸素濃度の変動について

○熊本 雄一郎（海洋研究開発機構）他

M21（15:35-15:50）

北太平洋深層における栄養塩変動について

○青山 道夫（気象研究所）他

M22（15:50-16:05）

海洋内部に蓄積する人為起源CO<sub>2</sub>の全球構造

○村田 昌彦（海洋研究開発機構）他

M23（16:05-16:20）

WHP-P1、P14 測線の再観測結果について

○河野 健（海洋研究開発機構）他

**休憩（16:20-16:30）**

**S6：海洋大循環・物質循環Ⅲ（16:30-17:15）座長：川合 義美（海洋研究開発機構）**

M24（16:30-16:45）

南半球亜熱帯海洋の中層の低塩化は 1990 年に降も進行している

○勝又 勝郎（海洋研究開発機構）他

M25（16:45-17:00）

オホーツク海中央部に於いて中冷水の下に見つかった低塩・低温アノマリ

○中村 知裕（北海道大学）他

M26（17:00-17:15）

WHP再観測データを用いた北太平洋亜表層の変化と循環場の再検討

○額根 慎也（海洋研究開発機構）他

**閉会挨拶、ポスター表彰（17:15-17:25）**

しんかいシンポジウム

- PS60. AUVと合成開口技術によるソナーの高性能化について
  - 海域実験結果と今後の展望 -
  - 澤 隆雄 (海洋研究開発機構) 他
- PS61. 位相共役波による長距離音響通信の研究-第2回実海域試験の結果-
  - 志村 拓也 (海洋研究開発機構) 他
- PS62. プレート境界域の湧水環境における微生物学的多様性のカタログ化の試み
  - 森久 夏海 (海洋研究開発機構) 他
- PS63. 伊豆・小笠原カルデラ内熱水活動域における微生物の分布様式と多様性解析
  - 牧田 寛子 (海洋研究開発機構) 他
- PS64. 南部マリアナトラフにおける熱水性堆積物中の微生物相
  - 加藤 真悟 (東京薬科大学) 他
- PS65. 深海底熱水噴出孔周辺のバクテリオファージの生態調査
  - 大野 さやか (海洋研究開発機構/東京工業大学) 他
- PS66. 水曜海山に生息する核膜構造が不完全な深海微生物の系統進化的解析
  - 八谷 如美 (東京医科大学) 他
- PS67. 時系列誤差特性を補償する慣性航法装置の回転制御
  - 石橋 正二郎 (海洋研究開発機構) 他
- PS68. 大深度無人探査機ABISMOの開発
  - 伊藤 和彰 (海洋研究開発機構) 他
- PS69. 深海底泥からの環境浄化に役立つ微生物分離の試み
  - 関口 峻允 (海洋研究開発機構) 他
- PS70. 沖繩トラフの深海底熱水孔チムニー構造物における培養法を用いた微生物多様性解析
  - 川市 智史 (京都大学大学院) 他
- PS71. 微生物生育温度推定法の開発と応用: 海底熱水噴出域直下の地下圏に生息する超好熱古細菌の検出と生息域の解明
  - 木村 浩之 (静岡大学) 他
- PS72. 南奄西海丘熱水活動域地球微生物学調査の概要
  - 布浦 拓郎 (海洋研究開発機構) 他
- PS73. 琉球弧海底熱水系の熱水-海水混合域における硫酸化微生物SUP05の分布
  - 砂村 倫成 (東京大学大学院) 他
- PS74. NT07-10の航海概要: サツマハオリムシ血液に含まれるレクチンの精製を中心に
  - 神保 充 (北里大学) 他
- PS75. 西太平洋熱水噴出域に生息する蔓脚類Neoverrucaの系統地理と集団構造
  - 渡部 裕美 (海洋研究開発機構) 他
- PS76. 海底火山黒瀬海穴内外における中・深層性動物プランクトンの分布特性
  - 森 美由貴 (横浜市立大学大学院) 他
- PS77. 深海クラゲ (Atolla wyvillei およびA. vanhoeffeni) の種間特異的タンパク質群の性状解明に向けた研究
  - 川端 建徳 (東京海洋大学) 他
- PS78. 深海無脊椎動物H<sub>2</sub>S代謝のppbレベル船上測定
  - 神木 隆行 (琉球大学) 他
- PS79. 鹿児島県の野間岬沖に見られるコトクラゲの生態
  - 三宅 裕志 (北里大学) 他
- PS80. YK07-06航海概要報告: 多段開閉式プランクトンネットIONESSおよび小型ピークル「ピカソ」を用いた相模湾および黒瀬海穴の中深層生物の調査と船上組織培養
  - 小西 聡史 (海洋研究開発機構) 他
- PS81. 沖繩海域鳩間海丘における熱水ブルーム拡散挙動について
  - 下島 公紀 (財) 電力中央研究所) 他
- PS82. サツマハオリムシ(Lamellibrachia satsuma) 集団の遺伝的多様性と生息環境の関わり
  - 村上 宗樹 (東京大学海洋研究所) 他
- PS83. SUPER SNAILS CRUISE 南西太平洋深海底熱水噴出域生態系調査の成果報告
  - 鈴木 庸平 (産業技術総合研究所) 他
- PS84. 相模湾海丘西にて採集されたピファンコウの飼育記録
  - 北田 貢 (新江ノ島水族館) 他
- PS85. 水曜海山に生息するオハラエビの多様性と遺伝的系統関係
  - 根本 卓 (新江ノ島水族館) 他
- PS86. フサゴカイ類と共生するラスバンマメガニの飼育下観察
  - 伊藤 寿茂 (新江ノ島水族館) 他
- PS87. 千島海溝斜面の冷水湧出域に見られる底質と生物
  - 足立 文 (新江ノ島水族館) 他
- PS88. 上越沖メタン活動域における微地形、浅部構造調査について
  - DAI-PACK マッピング-
  - 上嶋 正人 (産業技術総合研究所) 他
- PS89. 日本海メタンハイドレート域に出現するカイメン類の共生現象
  - 藤原 義弘 (海洋研究開発機構) 他
- PS90. ガスハイドレートの生成・分解による間隙水の化学組成変化
  - 蛭田 明宏 (東京大学大学院) 他
- PS91. 日本海東縁直江津沖の海水柱及び海底堆積物のメタン濃度とその炭素同位体比
  - 石崎 理 (東京大学大学院) 他
- PS92. YK0712航海で得られたオホーツク海海底堆積物コアの概要
  - 坂井 三郎 (海洋研究開発機構) 他
- PS93. YK07-12航海で得られた海洋底堆積物コア分光反射能計測を用いたオホーツク海融氷イベント (MWP) の検出
  - 朝日 博史 (東京大学海洋研究所) 他
- PS94. 台湾南西沖冷湧水海域における地形及び地質構造調査
  - NT07-05日本台湾共同調査より-
  - 森田 澄人 (産業技術総合研究所) 他
- PS95. 日本海上越沖メタンハイドレート胚胎域の地殻熱流量異常
  - 町山 栄章 (海洋研究開発機構) 他
- PS96. 日本海東縁上越沖におけるメタン由来カーボネイトの研究
  - 山王 梨紗 (東京大学大学院) 他
- PS97. オホーツク海底層水および堆積物中の間隙水の化学特性
  - 川村 紀子 (産業技術総合研究所) 他

- PS98. 堆積物-水境界ダイナミクスと底生有孔虫の反応
  - 北里 洋 (海洋研究開発機構) 他
- PS99. 日本海溝斜面域の海底堆積物コア中のタービダイトの特徴
  - 池原 研 (産業技術総合研究所)
- PS100. 新潟県中越沖における反射法地震探査とその解釈
  - 野 徹雄 (海洋研究開発機構) 他
- PS101. 南海掘削リファレンスサイト周辺での詳細な堆積過程: KY07-01航海で行われたシービーム調査, ピストンコア試料の速報
  - 川村 喜一郎 (財) 深田地質研究所) 他
- PS102. 北太平洋 "Magnetic Quiet Zone" での磁気異常調査-白亜紀スーパークローンにおける地球磁場変動の研究-
  - 望月 伸竜 (産業技術総合研究所) 他
- PS103. ライラ海盆火山砕屑岩の地球化学的研究-オントンジャワ海台の活動末期マグマの発見?
  - 清水 健二 (海洋研究開発機構) 他
- PS104. KR07-05, KR05-04航海で得られた海底地形データに基づく日本海溝陸側斜面下部域の地形と地質構造
  - 佐々木 智之 (東京大学) 他
- PS105. YK07-14, KR05-04航海で得られた海底地形データに基づく千島海溝陸側斜面域の地形および地質構造
  - 佐々木 智之 (東京大学) 他
- PS106. 日本海溝北部前弧斜面域の地質構造
  - 井上 卓彦 (産業技術総合研究所) 他
- PS107. Lyra海盆の地形的特徴: KR06-16地球物理学観測の結果
  - 中西 正男 (千葉大学大学院) 他
- PS108. 北西太平洋における海底地形構造の記載
  - 中西 正男 (千葉大学大学院) 他
- PS109. 鹿児島湾奥部若草火口底から湧出する熱水の地球化学
  - 前藤 晃太郎 (岡山大学) 他
- PS110. 海底熱水系における溶存有機物の地球化学
  - 赤司 裕紀 (岡山大学) 他
- PS111. 沖繩トラフ鳩間海丘熱水系の鉱物化学的特徴
  - 中野 宏樹 (九州大学大学院) 他
- PS112. 鳩間海丘における海底熱水の化学組成2007
  - 土岐 知弘 (琉球大学) 他
- PS113. 始良カルデラ内の熱流量分布
  - 藤野 恵子 (九州大学大学院) 他
- PS114. 水期間水期サイクルに対応した日本海CCDの変動
  - 西沢 慎人 (東京大学大学院) 他
- PS115. 第9回 全国児童「ハガキにかこう海洋の夢 絵画コンテスト」体験乗船
  - 萱場 うい子 (海洋研究開発機構) 他

みらいシンポジウム

- PM22: MR07-06航海までに得られた北太平洋でのクロロフィルaオロカーボン類の分布について
  - 佐々木 建一 (海洋研究開発機構) 他
- PM23: 西部北太平洋海域における植物プランクトン群集の南北分布
  - 藤木 徹一 (海洋研究開発機構) 他
- PM24: 希土類元素等化学的トレーサによる北部北太平洋の水塊構造解析
  - 佐藤 未菜 (富山大学) 他
- PM25: 南太平洋チリ沖36° Sにおける過去22,000年間の生物生産量変動
  - 宮下 航 (琉球大学大学院) 他
- PM26: ペーリング海大陸棚南部における完新世の海洋環境変動と大気循環との相互関係
  - MR06-04航海GC-33コア解析成果報告-
  - 香月 興太 (釜山大学) 他
- PM27: 西部赤道太平洋域における現場及び衛星海面高度に関する観測研究
  - 香西 克俊 (神戸大学) 他
- PM28: WHP再観測データから計算した太平洋の貯熱量変化
  - 土居 知将 (海洋研究開発機構) 他
- PM29: 北太平洋亜熱帯循環域でのセシウム137の長期挙動
  - 青山 道夫 (気象研究所) 他
- PM30: 溶存酸素濃度からみた日本海深層海水循環とその経年変化
  - 村山 晴美 (富山大学大学院) 他
- PM31: 西部北太平洋における水柱積算Chla量の推定モデルの検証
  - 岡本 俊 (北海道大学大学院) 他
- PM32: 西部北太平洋における珪藻殻の溶解過程に関する研究
  - 井形 宣一郎 (東京大学大学院) 他
- PM33: Argo観測網の構築
  - 平野 瑞恵 (海洋研究開発機構) 他
- PM34: 過去2万年間における底生有孔虫のMg/Caを用いた北西太平洋の中層水温度復元
  - 木元 克典 (海洋研究開発機構) 他
- PM35: 暖水ブルームの季節スケールの流速変動とENSO
  - 安藤 健太郎 (海洋研究開発機構)
- PM36: 水中分光放射特性を用いたmicroplankton群集優占海域の識別
  - 藤原 周 (北海道大学大学院) 他
- PM37: 時系列観測点K21における微小動物プランクトンの生態的役割
  - 喜多村 稔 (海洋研究開発機構) 他
- PM38: Geochemical evidence for Millennial-Scale Variation of Intermediate Water Intensity in the Bering Sea During the Last Glacial-Interglacial Cycle?
  - Rella Stephan (東京大学大学院) 他
- PM39: 東インド洋における植物プランクトン鉛直分布の変動特性
  - 中谷 直樹 (大阪府立大学) 他
- PM40: 北太平洋高緯度海域における浮遊性有孔虫の遺伝的多様性について: MR06-03, MR06-04及びYK07-12で採取された試料の解析結果
  - 倉沢 篤史 (北海道大学大学院) 他